

2022年11月15日

## 日本版 CNIPR の法律状態情報と生死判定

アジア特許情報研究会:伊藤徹男

### 1. 中国特許情報の生死情報

中国特許調査において検索で抽出した情報の生死判定には CNIPR の法律状態情報を参考にしています。

前回の報告では日本版 CNIPR と中国版 CNIPR の法律状態情報には若干の差があり、年金未納等で死んでいるものが日本版 CNIPR では「生」として生きているものがあることなどを紹介しました<sup>1)</sup>。しかし、その報告から2年経過した現在、「死」であるべきところ「生」となっている点については中国版 CNIPR に倣って改善されたようです。

一度「死」と判定されたものが「生」となって生き返るものがあるなどについては INFOPRO2015 で紹介しました<sup>2)</sup>。

- ⑩出願 ⇒ 公開前取下 …データベース上からは確認できない。
- ①出願 ⇒ 公開後取下(審査請求前)
- ②出願 ⇒ 公開後みなし取下(未審査請求)
- ③出願 ⇒ 公開(審査請求) ⇒ 審査請求(公開) ⇒ 取下
- ④出願 ⇒ 公開(審査請求) ⇒ 審査請求(公開) ⇒ みなし取下(OA未対応)
- ⑤出願 ⇒ 公開(審査請求) ⇒ 審査請求(公開) ⇒ 拒絶
- ⑥出願 ⇒ 公開(審査請求) ⇒ 審査請求(公開) ⇒ 授権
- ⑦③取下 ⇒ 授権 全期間で16件(ほとんど問題にならない)
- ⑧③取下 ⇒ 権利回復請求(原則不可) ⇒ 実体審査 ⇒ 授権
- ⑨④みなし取下 ⇒ 権利回復請求 ⇒ 却下
- ⑩④みなし取下 ⇒ 権利回復請求 ⇒ 実体審査 ⇒ みなし取下
- ⑪④みなし取下 ⇒ 権利回復請求 ⇒ 実体審査 ⇒ 授権
- ⑫④みなし取下 ⇒ 授権 …包袋を確認すると多くは⑪
- ⑬⑤拒絶 ⇒ 審判 ⇒ 授権(拒絶維持で却下の方が多)
- ⑭⑥授権 ⇒ 年金未納によるみなし放棄
- ⑮⑥授権 ⇒ 年金納付 ⇒ みなし放棄 ⇒ 年金未納失効
- ⑯⑥授権 ⇒ 年金未納失効 ⇒ 権利回復請求(追納)による復活
- ⑰みなし放棄 ⇒ 授権

図1. 法律状態情報の各種パターン(INFOPRO2015)<sup>2)</sup>

Case①改:公開 ⇒ 取下(撤回) ⇒ 取下の取消(撤销)	有効(生)
Case⑦:取下 ⇒ 包袋に回復請求記載なし ⇒ 授権	有効(生)
Case⑦:取下 ⇒ 包袋に回復請求記載あり ⇒ 授権	有効(生)
Case⑫:みなし取下 ⇒ 包袋に回復請求記載あり ⇒ 授権⑪	有効(生)
Case⑬:拒絶 ⇒ 公報訂正で「拒絶を削除」 ⇒ 授権	有効(生)
Case⑬:拒絶 ⇒ 拒絶査定不服審判(包袋) ⇒ 授権	有効(生)
Case⑰:みなし放棄 ⇒ 回復請求(包袋) ⇒ 授権	有効(生)

図2. 失効(死)と判断していたら、いつの間にか有効(生)になっていた(INFOPRO2015)<sup>2)</sup>

## 2. 日本版 CNIPR による生死情報

日本版 CNIPR では図3に示すように 2014 年に生死情報から検索が可能となり、生きているもの(有効)、失効しているもの(無効)、審査請求前後の公開特許(審査中)などで絞る検索も可能となりました。

複合検索画面(図3)では「法律状態」フィールドから審査請求、授権など法律状態項目を絞り込めるようになっていますが、「法律状態情報」フィールドがありません。他方、法律状態検索データベース(図4)では「法律状態」とは別に「法律状態情報」からも検索できます。複合検索画面でも 2、3 年前は「法律状態情報」フィールドが存在しましたが現在はありません。

図3. 日本版 CNIPR 複合検索画面

図4. 法律状態検索画面

法律状態検索データベースにおける失効理由別の推移を表1(特許)と表2(実用新案)に示しました。

表1のいずれの失効理由からも「法律状態情報」の方が若干多くなっています(理由は未検証です)。複合検索画面の「法律状態」フィールドでは年金未納(未繳年費)は検索できません。

出願年や出願番号年からの検索ではデータが更新されるたびに変化しますので注意が必要です。表1および表2の「出願年」とあるのは出願番号年からのもので 2022 年 11 月 1 日現在です。

表1. 特許失効理由別の検索数(法律状態検索データベース)

「法律状態」からの検索(出願番号年) 「法律状態情報」からの検索(出願番号年)

出願年	视为放弃	视为撤回	撤回	驳回	未繳年費	出願年	视为放弃	视为撤回	撤回	驳回	未繳年費
2000	1,265	18,532	55	2,201	8,769	2000	1,286	19,129	55	2,221	25,557
2005	3,049	53,658	726	13,234	2,674	2005	3,068	54,919	732	13,371	70,819
2010	2,439	11,531	517	43,942	0	2010	2,461	120,572	517	43,985	85,982
2015	3,409	264,700	24,253	245,469	0	2015	3,416	266,832	24,257	245,513	56,453
2016	3,435	257,794	65,531	322,455	0	2016	3,443	259,268	65,537	322,515	40,297
2017	2,672	226,804	161,100	315,730	0	2017	2,677	228,095	161,108	315,750	19,566
2018	2,335	149,181	199,023	279,170	0	2018	2,344	149,849	199,028	279,184	11,150
2019	1,333	48,153	75,472	162,508	0	2019	1,337	48,448	75,478	162,516	3,662
2020	637	16,228	147,450	56,641	0	2020	638	16,369	147,458	56,644	533
2021	71	2,785	66,170	6,115	0	2021	71	2,878	66,172	61,156	0
2022	0	154	3,742	0	0	2022	0	182	3,743	0	0

表中の黄色でマークしたものは、非正常出願の行政指導により出願人が自発的に取下げたもの(撤回)が一時的に増加したためではないかと思っています<sup>3)</sup>。

表2. 実用新案失効理由別の検索数(法律状態検索データベース)

出願年	登録数	视为放弃	视为撤回	驳回	未繳年費
2011	1093536	380	1317	6	376400
2012	1365834	362	1392	15	478589
2013	1266786	228	1756	49	439559
2014	1342340	189	1705	13	438318
2015	1773972	144	1362	25	574652
2016	1977901	39	677	30	594278
2017	2338630	32	393	22	658276
2018	2463191	17	285	19	563345
2019	2750231	14	254	7	426373
2020	3088085	9	181	7	161687
2021	2546605	2	158	5	0
2022	787154	0	22	4	0

例1 出願番号: CN201922093290.X  
 法律状態公告日: 2022.11.04  
 法律状態: 专利权的终止  
 法律状態情報: 未繳年費专利权终止

例2 出願番号: CN202220511531.7  
 法律状態公告日: 2022.10.28  
 法律状態: 文件的公告送达  
 法律状態情報: 文件的公告送达  
 文件名称: 驳回決定通知書

図5. 法律状態データベース実案検索例

実用新案の「视为放弃」、「视为撤回」、「驳回」などは「法律状態」では検索できませんが、「法律状態情報」ではそれぞれ以下のように「通知書(通知)」としての情報が収録されています。

视为放弃取得专利权通知書、视为撤回通知書、驳回決定通知書

実用新案の取下げ(撤回)は、特許のような「公布后的撤回」がありません。

法律状態項目の日本語訳の概略を以下に示します。審査請求の表記は年代によって変わって  
いますので検索時には注意が必要です。

撤回	取下
驳回	拒絶査定
实质审查请求已生效的专利申请	審査請求(1991-1992)
审查请求的生效	審査請求(1993-1999)
实质审查的生效	審査請求(2000-)
视为撤回	見做し取下(出願中のもの)
视为放弃	見做し放棄(権利化されたもの)
部分无效	部分無効(権利の一部が無効)
权利的恢复+专利权的恢复+恢复专利权	権利の回復
专利权的终止	専利権終了
未缴年费+未缴纳年费	年金未納
有效期届满	専利権期間満了
主动放弃	自発放棄
避免重复授权放弃专利权	二重出願の場合の実案権の放棄

図5. 法律状態項目の日本語訳

表1、表2の出願番号年の数値は、出願年を跨ぐものも若干存在します<sup>3)</sup>。出願年から検索した  
数値との比較を表3に示しました。

表3. 出願年検索と出願番号年検索の違い(2022年11月1日現在)

	出願年		出願番号年	
	公開数	有効数	公開数	有効数
2001	68,215	5	65,836	4
2002	89,707	3869	85,826	3,739
2003	120,455	20006	115,171	18,260
2004	145,281	27575	141,092	25,294
2005	180,473	37636	177,505	35,165
2006	211,816	48006	209,584	45,467
2007	233,582	57551	231,212	55,239
2008	270,319	73358	268,967	70,982
2009	306,041	91738	303,157	89,646
2010	368,697	119346	365,343	117,261
2011	472,257	166620	468,061	164,092
2012	598,398	224479	593,884	221,918
2013	741,852	290301	735,003	287,938
2014	833,419	332945	825,499	331,427
2015	984,491	370807	982,389	372,803
2016	1,195,801	430534	1,196,427	434,606
2017	1,409,117	410661	1,411,589	416,529
2018	1,547,766	441109	1,555,584	448,352
2019	1,400,908	400186	1,407,343	404,669
2020	1,578,737	344482	1,592,476	347,969
2021	1,423,947	207365	1,443,174	207,133
2022	734,309	35874	721,599	34,660

### 3. 有効特許、有効実用新案

日本版 CNIPR の生死状態(有効/無効/審査中)検索を元に中国特許庁(CNIPA)統計情報の特許出願推移と共に有効特許について示したのが図6です。出願年基準のデータですので CNIPR の最近数年分の公開特許数は若干積み上がるものと思います。また、有効特許数も同様に審査の進捗と共に積み上がりますが、経年と共に失効するものもあるので単純に登録分だけ積み上がることにはなりません。

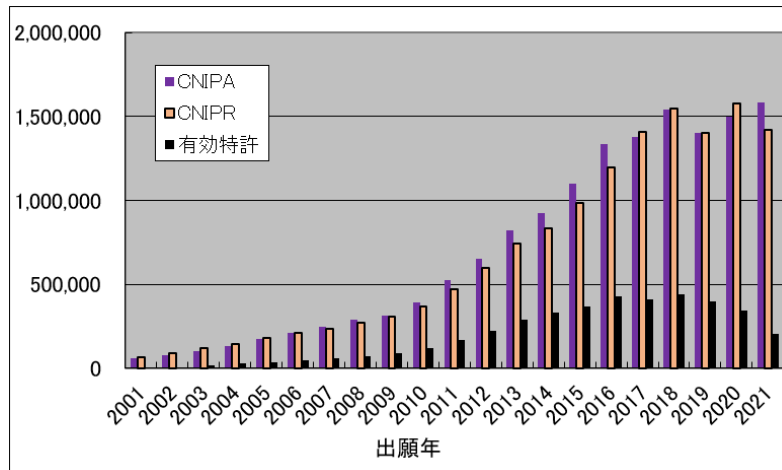


図6. CNIPA 出願統計と CNIPR 収録データ

CNIPA の出願統計データより日本版 CNIPR のデータが多くなっている出願年がありますが理由は未検証です。CNIPA のデータは出願されたものすべてが含まれますが、データベース(CNIPR)には公開前に取り下げられたものなどは収録されないと思いますので CNIPA のデータより少なくなるはずです。いずれにせよ出願年基準のデータですのでデータ収録更新と共に変化します。

表4. 特許、実用新案の有効/無効

出願年	公開特許	有効	無効	審査中	登録特許	有効	無効	審査中	実案	有効	無効
2001	68,215	5	68,204	6	43,032	4	43,028		62,084	0	62,084
2002	89,707	3,453	86,195	67	58,859	3,388	55,471		73,818	0	73,818
2003	120,455	19,910	100,434	112	78,170	19,906	58,265		83,564	0	83,564
2004	145,281	27,467	117,692	122	91,060	27,475	63,585		89,029	0	89,029
2005	180,473	37,636	142,762	217	108,692	37,511	71,180	1	106,437	0	106,437
2006	211,816	47,830	163,598	388	122,675	47,894	74,780	1	129,206	0	129,206
2007	233,582	57,372	175,908	302	134,133	57,426	76,707		150,515	0	150,515
2008	270,319	73,075	196,910	334	154,840	73,197	81,643		192,642	0	192,642
2009	306,041	91,402	214,198	441	176,975	91,572	85,403		269,625	1	269,624
2010	368,698	119,021	249,016	661	205,190	119,179	86,011		343,024	10	343,014
2011	472,257	166,263	305,013	981	252,770	166,454	86,316		485,469	26	485,443
2012	598,399	223,851	372,571	1,977	310,932	224,015	86,917		627,030	39,185	592,845
2013	741,853	289,637	448,109	4,107	380,394	289,762	90,632		641,976	168,273	473,703
2014	833,430	332,264	492,296	8,870	409,778	332,302	77,476		703,792	227,309	476,483
2015	984,518	370,206	592,954	21,358	427,170	370,169	57,001		947,745	334,611	613,134
2016	1,195,858	430,379	687,138	78,341	471,136	430,408	40,728		1,116,843	482,822	634,021
2017	1,409,212	411,238	726,760	271,214	431,516	411,336	20,180		1,437,446	766,678	670,768
2018	1,547,917	442,364	644,487	461,066	454,513	442,545	11,968		1,672,232	1,101,231	571,001
2019	1,401,062	403,095	302,470	695,498	407,705	403,478	4,226	1	2,122,797	1,683,978	438,819
2020	1,579,588	350,000	233,460	996,128	351,126	350,585	540	1	2,757,942	2,591,072	166,870
2021	1,430,159	215,126	82,495	1,132,538	215,669	215,658	10		2,484,023	2,483,455	568
2022	782,243	39,705	5,347	737,191	39,839	39,837	2		830,107	830,078	29

図3で紹介したように特許も実案も登録となって生きている「有効」なもの、失効して「無効」となっているもの、および登録前の公開特許(審査請求しているものも含む)が「審査中」として抽出できることになっています。

黄色でマークしたものは、特許では出願から20年以上経過したもの、実案では出願から10年以上経過したものが「有効」とされています。また、登録特許で「審査中」というのも極めてわずかですが存在します。登録なのに「審査中」など、このような異常なものは次節で検証します。

この本来、期限が到来して失効しているものが日本版 CNIPR では相当数あったが(2020年4月時点)、現在は解消されていることは冒頭でも触れました<sup>1)</sup>。

表4の特許と実案について有効率(権利維持率)という観点から、また内国出願、外国からの出願別にその推移を図7に有効特許、図9に有効実案として示しました。



図7. 特許有効率

図7において2018年出願以降の内国出願率が高くなっている理由は、図8に示すように内国出願がほとんど(99.9%以上)である早期公開特許による影響ではないかと考察しています。

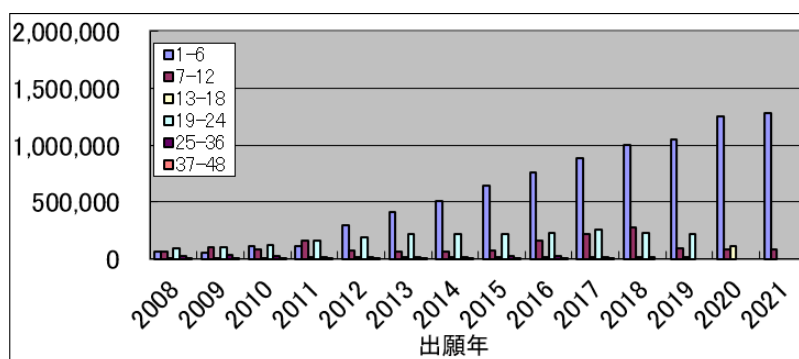


図8. 早期公開特許(凡例の数字は出願からの月数)

中国では出願して審査請求しても「公開」にならないと審査が始まりませんので早期に公開になった特許が必然的に優先して審査され、登録となるためではないかと。

内外国ともに2016年以降、有効率の低下がみられるのは、審査に時間がかかり(通常2年以上)、したがって登録特許となるのが遅れるためです。登録になった内国出願の有効率(特許維持率)は外国からの出願に比べて低いこともわかります。

早期公開特許(早期登録実案)とは出願から18か月以内に公開になる特許(登録実案)と定義しており、しかも2015年以降、全出願数の約7割の特許が出願から6か月以内に公開となっています<sup>4)</sup>。

同様に実案について見てみると、全出願の99.7%以上は内国出願ですが、図10に示すようにやはり1年以内の早期登録が多いために直近の有効率はほぼ100%になっています。

実案の場合でも、内国出願の有効率(特許維持率)は外国からの出願に比べて低く、失効数も急激に増え、5年も経つと50%が失効という状況です。



図9. 実案有効率

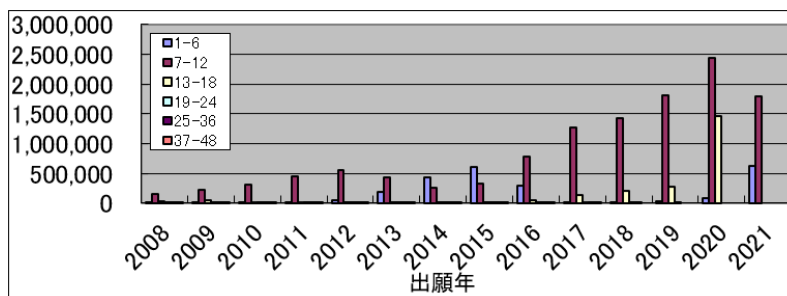


図10. 早期登録実案(凡例の数字は出願からの月数)

2016年以前も出願から6か月以内に登録になるものもそこそこありましたが、その後はほとんど出願から1年以内登録が増え、登録の遅延状況が窺えました。しかし、2021年出願では出願から6か月以内登録も増えてきました。

今後は実案の実質審査も始まるとのことですので、早期登録実案の動向が気になるところです。

#### 4. 法律状態情報の異常表記

出願された願書は、原則として公開⇒審査請求⇒審査⇒授権(拒絶)、または審査請求⇒公開⇒審査⇒授権(拒絶)の順に進められ、法律状態情報としては法律状態項目と共に法律状態公告日が示されます。具体例中、法律状態公告日を括弧で示しました。2001～2021 年に出願された案件の件数と共に**問題あり**と思われる事例を抽出し、それぞれ 1 例を紹介しました。(検証日は 2022 年 11 月 12 日)

権利移転(専利权的转移)、ライセンス(専利实施许可)、住所変更(地址的变更)、発明者等書誌事項の変更(著录事项变更)など生死情報には関りがないと思われる法律状態項目は無視して検証した。

かつては、ダウンロードした法律状態データから審査請求～授権、審査請求～拒絶までの期間を検証したことがありますが、欠落データ(以下のような問題のある情報)も考慮せずに解析していたこととなります。

##### a) 審査請求(实质审查)が欠落しているもの

審査請求をしないと審査が始まりませんから(庁自ら必要と判断したものについては出願人が審査請求しなくても審査を開始できることにはなっていますが、未だその例を知りません)審査請求をせずに授権、拒絶などはないはずですが、以下のようにかなりの数で「实质审查(審査請求)」の表記のない法律状態情報が存在します。

- 1) 公開(2003. 11. 12)⇒授権(2006. 02. 08) 374 件(有効)
- 2) 公開(2003. 11. 12)⇒驳回(2010. 08. 11) 210 件(無効)
- 3) 公開(2001. 11. 28)⇒授権(2004. 07. 07)⇒専利权的终止(2009. 09. 02) 2011 件(無効)
- 4) 公開(2003. 11. 12)⇒授権(2005. 06. 08)⇒无效宣告(2010. 11. 10) 6 件(無効)

##### b) 「有効特許」とされているもの

失効項目(视为放弃、视为撤回、公布后的撤回、驳回、未缴年费、専利权的终止、无效宣告、主动放弃、避免重复授予)があっても「有効」とされているもの。

失効後に回復(恢复)、更正などがあり、「授権(授权)」となっていれば問題はありません。(公開⇒实质审查⇒视为撤回⇒恢复(または更正)⇒授権)

- 1) 公開(2005. 07. 20)⇒实质审查(2005. 09. 14)⇒视为放弃(2008. 08. 20)⇒授権(2008. 12. 10) ・ ・ 视为放弃(見做し放棄)後に恢复または更正がないのに授権 5 件
  - 2) 公開(2015. 03. 04)⇒实质审查(2015. 04. 01)⇒视为撤回(2016. 09. 07)⇒授権(2017. 08. 29) ・ ・ 视为撤回(見做し取下げ)後に恢复または更正がないのに授権 12 件
- 図 1 のパターン⑫に該当(包袋に回復請求の記述があるものもあり)



3) 公開 (2019. 03. 26) ⇒ 实质審査 (2019. 04. 19) ⇒ 公布后的撤回 (2019. 04. 26) ⇒ 授权 (2020. 11. 06) ・ ・ 出願人による撤回 (取下げ) 後に恢复または更正がないのに授权 9 件

図 1 のパターン⑦に該当

4) 公開 (2006. 09. 27) ⇒ 实质審査 (2006. 11. 22) ⇒ 驳回 (2010. 08. 11) ⇒ 授权 (2012. 06. 27) 146 件

図 1 のパターン⑬に該当

5) 公開 (2008. 01. 16) ⇒ 实质審査 (2008. 03. 05) ⇒ 授权 (2011. 11. 30) ⇒ 专利权的终止 (2021. 05. 18) ⇒ 无效宣告 (2022. 05. 06) ・ ・ 最終法律状態が「专利权的终止」「无效宣告」であるのに「有効」とは? 4 件

6) 公开 (2005. 04. 27) ⇒ 实质審査 (2005. 06. 29) ⇒ 授权 (2006. 12. 06) ⇒ 无效宣告 (专利权部分无效) (2009. 04. 22) ・ ・ 「部分无效」では「全部无效」でないので「有効」?

7) 公开 (2013. 01. 30) ⇒ 实质審査 (2013. 03. 13) ⇒ 授权 (2014. 08. 13) ⇒ 无效宣告 (2022. 10. 11) ・ ・ 「全部无效」なのに何故「有効」? 359 件

c) 「無効特許」とされているもの

法律状態情報に失効項目 (视为放弃、视为撤回、公布后的撤回、驳回、未缴年费、专利权的终止、无效宣告、主动放弃、避免重复授予) がないにも拘わらず「無効」とされているもの。

LEGAL=(授权 not (视为放弃 or 视为撤回 or 公布后的撤回 or 驳回 or 未缴年费 or 专利权的终止 or 无效宣告 or 主动放弃 or 避免重复授予)) and AD=(2001 to 2021) 24 件

1) 公开 (2001. 10. 24) ⇒ 授权 (2006. 05. 24)

2) 公开 (2004. 02. 25) ⇒ 实质審査 (2004. 05. 05) ⇒ 授权 (2005. 07. 27)

3) 实质審査 (2001. 10. 03) ⇒ 公开 (2002. 12. 11) ⇒ 实质審査 (2002. 12. 11) ⇒ 授权 (2004. 09. 22)

4) 实质審査 (2002. 09. 18) ⇒ 公开 (2002. 11. 20) ⇒ 实质審査 (2003. 01. 29) ⇒ 实质審査 (2003. 02. 12) ⇒ 授权 (2004. 08. 18) ・ ・ 何度も審査請求をしているのは何か?

これら「授权」で終了しているのに何故「無効」とされているかについては今少し考察が必要です。授權後に無効となるのは、審判で無効とされた場合、または授權後、年金を納付せず (年金未納) に失効した場合などで「全部无效」「专利权的终止 (未缴年费)」などの失効項目が欠落していることが考えられます。

最終法律状態が見直し取下げ (视为撤回) で無効になっているのは理解できますが、「授权」後、何故「视为撤回」となったか、その理由が知りたいところです。

公开 (2008.06.25) ⇒ 实质審査 (2008.08.20) ⇒ 授权 (2009.10.14) ⇒ 视为撤回 (2011.06.22)

年金納付などの支払い請求(缴费通知书)をしているにも拘わらず納付がない場合に失効(专利权终止通知书)となっているものもあれば(イ)、支払い請求(缴费通知书)なしに失効(专利权终止通知书)となるものもあります(ロ)。

(イ)授权(2015.11.25)⇒文件的公告送达(缴费通知书 2020.06.05)⇒文件的公告送达(专利权终止通知书 2020.11.10)

(ロ)授权(2017.07.11)⇒文件的公告送达(专利权终止通知书 2021.10.19)

d) 「審査中」とされているもの

失効項目の内、视为放弃、专利权的终止、无效宣告、主动放弃、避免重复授予の項目が含まれたもので「審査中」のものはありません。

1)「授权」となっているもので「審査中」のフラグが立っているもの 5件

・ 公开(2021.07.23)⇒实质审查(2021.08.10)⇒授权(2021.11.19)

・ 公开(2007.01.17)⇒授权(2008.04.02)⇒实质审查(2008.07.23) ・ ・ 授權後に審査請求？

2) 「视为撤回」があり、「審査中」のもの 39件

・ 视为撤回(2007.05.23)⇒公开(2007.05.30) ・ ・ 「公開」以降の法律状態の追加なく15年以上

・ 公开(2006.10.18)⇒视为撤回(2009.04.01)⇒更正(视为撤回の削除 2009.06.10) ・ ・ これも最後の更正からかなりの期間が経過しており、その後の情報にも追加がないので再度の「视为撤回」または「专利权的终止」となってもおかしくない。

・ 公开(2011.07.06)⇒视为撤回(2012.04.18)⇒恢复(2018.11.27)

视为撤回⇒恢复(または更正)のものも多い。

3) 「公布后的撤回」があり、「審査中」のもの 108件(内100件は恢复、更正なし)

・ 公开(2014.04.16)⇒公布后的撤回(2015.12.30)⇒更正(2016.03.23)⇒实质审查(2017.01.18)

・ 公开(2016.12.07)⇒公布后的撤回(2017.01.04)⇒实质审查(2017.01.04) ・ ・ 更正、恢复もなし

4)「驳回」があり、「審査中」のもの 6件

・ 公开(2007.01.17)⇒驳回(2007.01.17)⇒实质审查(2008.07.23) ・ ・ 恢复、更正もなし

・ 公开(2007.11.14)⇒实质审查(2008.04.02)⇒驳回(2012.03.21)⇒更正(2015.07.22)

e) 法律状態フィールドのデータ未収録

詳細説明中の法律状態には「公开」とあり、検索結果一覧の Status は「審査中」とありますが、ダウンロードデータの「法律状態」が空欄となっているものが2019年、2020年で異常に多い(表5)。データの収録が遅れているのでしょうか。月単位で未収録情報の追加を確認予定。

表5. 法律状態の収録がないレコード(2022/11/12 現在)

出願年	未収録	結果一覧	詳細説明
2000	0		
2005	0		
2010	0		
2015	1	審査中	公開
2016	0		
2017	0		
2018	152	審査中	公開
2019	13267	審査中	公開
2020	22622	審査中	公開
2021	119	審査中	公開
2022	0		

## 5. まとめ

以上見てきたように法律状態情報の欠落または未収録(収録のタイムラグ?)による異常表記も存在しますので、単に「法律状態情報を確認した」というだけで生死を判定するのは早計な場合があるかもしれません。

包袋を確認すれば異常表記は欠落等であることがわかるかもしれませんが、「恢复(更正)」の情報もなく、生きていたりするものも包袋を確認することでそれらの情報が存在することを発見できる場合もありますので、最終確認では「包袋」のチェックも見過ごせません。

ここではあくまでも検索データベース(CNIPR)で表記される法律状態についてその実態を紹介しましたが、再度、審査請求～授権、審査請求～拒絶の期間、失効～恢复(更正)までのデータベース収録のタイムラグなども検証してみたいと思っています。

上記の検証が実務にどれだけ役立つかなどは考慮していませんが、法律状態情報の実態にいくらかでも迫るべく紹介してみました。自分自身への備忘録でもある。

解釈の不十分なところも多々あるかと思いますが、皆さんからのご指摘をお待ちして修正等したいと思います。

## 6. 引用文献

### 1) 東アジア特許の生死情報 (その1. 中国)

[http://patentsearch.punyu.jp/asia/CN\\_LS.pdf](http://patentsearch.punyu.jp/asia/CN_LS.pdf)

### 2) 中国・台湾特許データベース法律状態情報の実態と活用

[http://patentsearch.punyu.jp/asia/INFOPRO2015\\_C41.pdf](http://patentsearch.punyu.jp/asia/INFOPRO2015_C41.pdf)

### 3) 中国特許情報の最新動向: 非正常出願の実態

[https://japio.or.jp/00yearbook/files/2022book/22\\_2\\_04.pdf](https://japio.or.jp/00yearbook/files/2022book/22_2_04.pdf)

### 4) 中国早期公開特許の最新動向

<http://www.tokugikon.jp/gikonshi/292/292kiko01.pdf>

以上